I-O DATA

【設定編】

ハイビジョンレコーディングハードディスク

HVL-A/ATシリーズ

RECBOX

録画や再生の方法については、別冊の【録画・再生編】をご覧ください。

B-MANU202011-01

もくじ

はじめに

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示

⚠危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

⃠	禁止
	指示を守る

危険

本製品を修理・改造・分解しない

火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

警告

接触禁止

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れないでください。感電の原因となります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使用しない

火災・感電の原因となります。

・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込み、窒息するおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

火災の原因となります。

警告

故障や異常のまま、接続しない

本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行う

電源プラグを抜かずに行うと、感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使用を中止する

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

決められた電源や、電源コードで使用する

所定以外の電源や電源コードで本製品を使用すると、火災・感電の原因となります。

給電されている LAN ケーブルは絶対に接続しない

給電されている LAN ケーブルを接続すると、発煙や火災の原因になります。

●電源（AC アダプター・電源コード・電源プラグ）について

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使用しない

電源コードから発煙したり火災の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントに接続しない

発熱、火災の恐れがあります。

電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わない

火災、感電の原因になります。

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

警告

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、火災や感電の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器に接続しない

添付の AC アダプターや電源コードは本機専用です。他の機器に取り付けると、火災や感電の原因となることがあります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない

火災の原因になります。

注意

本製品を踏まない

破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

●電源（AC アダプター・電源コード・電源プラグ）について

人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

熱器具のそばに配線しない

電源コード被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

使用上のご注意

**本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
弊社では、いかなる場合においても記録内容の修復・復元・複製などはいたしません。また、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても一切その責任は負いかねます。万一の場合に備え、定期的に「バックアップ」を行ってください。**

[参考] バックアップとは

ハードディスクなどに保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（ハードディスクやBD・DVD メディアなど）にデータを複製することをいいます。
※外付ハードディスクなどにデータを移動させることは「バックアップ」ではありません。
同じデータが 2 か所にあることではじめて「バックアップ」をした事になります。
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失っても、残ったもう一方のデータは使えるので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

○ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
○本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

使用ソフトウェアについて

○本製品には、GNU General Public License Version2. June 1991 に基づいた、ソフトウェアを使用しております。変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

その他のご注意

〇動作中に本製品や USB ハードディスクの電源は切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

〇本製品は、DHCP サーバーがある環境では、自動的に DHCP サーバーより IP アドレスが割り当てられるため、本製品の IP アドレスを設定する必要はありません。ただし、DHCP サーバーのない環境では、ネットワークに応じた IP アドレスを設定する必要があります。

〇本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。
本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

〇本製品を複数台ネットワークに導入する場合は、本製品の「IP アドレス」を異なる数値にする必要があります。

〇本製品内蔵ハードディスクは、本製品専用フォーマットでフォーマットされています。
他のフォーマット形式（FAT、NTFS など）にフォーマットすることはできません。

〇設定画面上から行うハードディスクのチェックディスクに要する時間は、ハードディスクの状態や容量により大きく異なります。通常は、非常に短い時間で終了しますが、ハードディスクの状態により、数分から数時間程度の時間を要することがあります。

〇コンテンツ公開用の USB ハードディスク内にすでに作成されているファイル名、フォルダー名には正しく表示されないものがあります。

〇録画中や [電源] ランプ点滅中に AC アダプターを抜いたり、本製品の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

〇コンテンツ公開用 USB ハードディスクに複数のパーティションがある場合、本製品で認識できるのは第 1 パーティションのみになります。

〇再生に使用するテレビやレコーダーによっては、録画コンテンツが再生できない場合があります。

〇トランスコード機能 (HVL-AT シリーズは標準搭載、HVL-A シリーズは弊社製 GV-TRC/USB を接続したとき) は、同時に複数のストリームにて使用することはできません。1 ストリームのみトランスコード機能を使用することができます。

箱の中には

☐ 本製品（1 台）
☐ LAN ケーブル　※ストレートタイプ：1m（1 本）
☐ AC アダプター（1 個）
☐ AC コード（1 本）
☑ 取扱説明書【設定編】（本書：1 冊）
☐ 取扱説明書【録画・再生編】（1 冊）

■ユーザー登録について
シリアル番号 (S/N) は、本製品に貼られているシールに「ABC0987654ZX」のように印字してあります。シリアル番号 (S/N) は、ユーザー登録の際に必要です。
https://ioportal.iodata.jp/　　▼こちらにシリアル番号 (S/N) をご記入ください。

動作環境

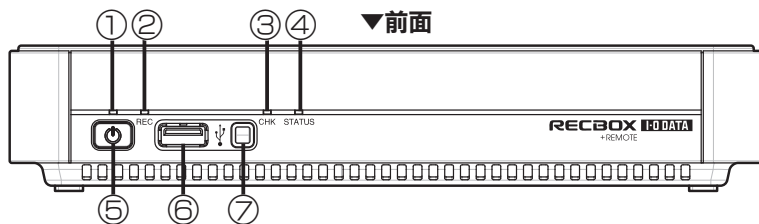
ご注意

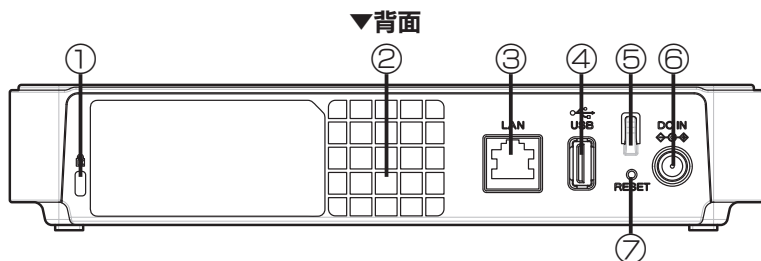
最新の動作環境や制限事項については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）でご確認ください。

対応機器
動作確認済み機種については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）の製品情報をご覧ください。

対応 OS
Windows® 8(32 ビット版 /64 ビット版)
Windows® 7(32 ビット版 /64 ビット版)
Windows Vista®(32 ビット版)
Windows® XP(32 ビット版)
iOS 5.1 ～ 6.1.3
Android 2.3 ～ 4.2.2

本製品の設定に必要なソフトウェア
本製品の設定には、以下の Web ブラウザーが必要です。
・Internet Explorer 7.0 以上
・Safari バージョン 3.0 以上
・Google Chrome
※一部の設定は、対応テレビに搭載の Web ブラウザーに対応しています。
※スマートフォン、タブレット端末は OS 標準 Web ブラウザーに対応しています。
※ Windows 8 の場合、設定画面はデスクトップモードで、Internet Explorer 9、10 の互換モードを有効にしてご利用ください。

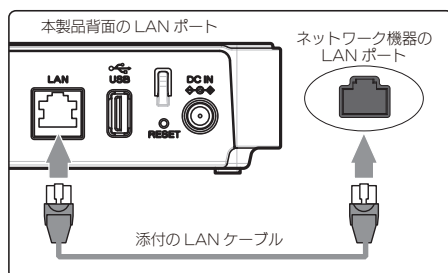
各部の名称・機能

名称	機能
①電源ランプ	緑…起動完了時 赤…スタンバイモード（省電力モード）時
② REC ランプ	赤…録画中※ / ダビング中 橙…予約あり ※スカパー! プレミアムサービス対応チューナー使用時のみ
③ CHK ランプ	ファームウェア更新の通知 (橙) ※本製品の設定で自動アップデート機能を [無効] に設定している場合、【●本製品の設定画面からファームウェアの更新を行う場合】(43 ページ) にしたがって更新してください。
④ STATUS ランプ	システムエラー発生時などに点灯 (赤) (【ランプの表示】(66 ページ) 参照)
⑤電源スイッチ	電源 ON/OFF (【電源を切る場合】(32 ページ) 参照)
⑥ USB ポート (A コネクター)	デジカメコピーに使用します。 (【デジカメコピー機能を使う】(29 ページ) 参照) DLNA コンテンツ公開用 USB ハードディスクなどを接続します。 (【USB ハードディスクを使う】(26 ページ) 参照) ※ USB ハブを経由して USB 機器を接続することはできません。
⑦ FUNC スイッチ	USB 機器を取り外す際に使用します。 (【USB ハードディスクを取り外すには】(28 ページ) 参照) デジカメコピー開始時に使用します。 (【デジカメコピー機能を使う】(29 ページ) 参照)

▼背面

①セキュリティースロット	盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。
② FAN	冷却用 FAN です。ふさがないでください。
③ LAN ポート	添付の LAN ケーブルを接続します。
④ USB ポート（A コネクター）	DLNA コンテンツ公開用 USB ハードディスクなどを接続します。 （【USB ハードディスクを使う】(26 ページ) 参照） ※ USB ハブを経由して USB 機器を接続することはできません。
⑤フック	AC コードが外れないように、引っ掛けて使用します。
⑥電源コネクター	添付の AC アダプターを接続します。
⑦リセットスイッチ	1 秒以上押すと電源ランプが緑点滅し、「IP アドレスの初期化」と「予約録画情報の削除」を同時に実行します。 （予約録画情報を削除については、【録画予約リスト】(37 ページ) 参照）

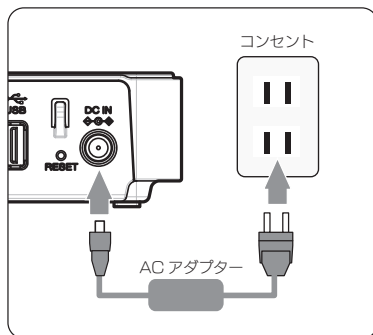
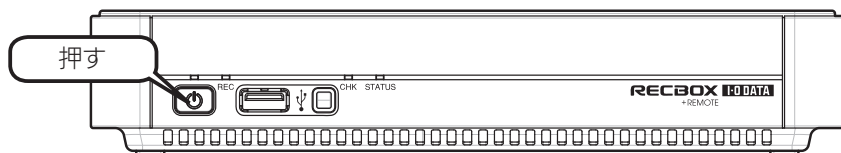
初期設定

ネットワークに接続する

1	ネットワーク内のパソコン、ルーター、ハブなどが正常に動作していることを確認します。また、無線 LAN 環境の場合は、無線 LAN ルーター、アクセスポイントなども確認します。

2	本製品背面の LAN ポートに添付の LAN ケーブルを接続し、もう一方をルーターやハブなどの LAN ポートに接続します。

ご注意

本製品の電源を入れる前に、必ず先にルーターやハブへ LAN ケーブルを接続してください。

3	AC アダプターと AC コードをつなぎ、本製品背面の電源コネクターに接続し、もう一方をコンセントに接続します。

4	本製品前面の電源スイッチを押し、電源を ON にします。 「ピー」と鳴り、電源ランプが緑点滅→緑点灯となったら、本製品の起動は完了です。

設定画面の開き方

本製品の設定画面は、iPhone/iPad/iPod touch、Android 端末、インターネットブラウザー搭載デジタルテレビ、パソコンから開くことができます。以降の手順にしたがって、設定画面を開いてください。

iPhone/iPad/iPod touch から開く

1	[AppStore] で「Magical Finder」を検索し、インストールします。

2	[Magical Finder] をタップします。 →接続できるネットワークデバイスが表示されます。 ※本製品を接続したネットワークに Wi-Fi 接続しておく必要があります。

3	本製品 [HVL-xxxxxx]（xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁）を選択します。

選択

4	[Web 設定画面を開く] を選択します。

選択

本製品の設定画面が開きます。

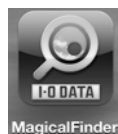
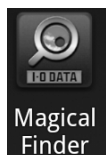
次に、【かんたん設定】(16 ページ) へお進みください。

ご注意

●設定画面表示中に、Web ブラウザーの [戻る] ボタンで前の画面に戻ることはできません。画面内に表示されるボタンを選択してください。

Android 端末から開く

1	[Play ストア]（Google Play）または [Android マーケット] で [Magical Finder] を検索し、インストールします。

2	[Magical Finder] をタップします。 →接続できるネットワークデバイスが表示されます。 ※本製品を接続したネットワークに無線 LAN 接続しておく必要があります。

3	本製品 [HVL-xxxxxx]（xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁）を選択します。

4	[Web 設定画面を開く] を選択します。

本製品の設定画面が開きます。

次に、【かんたん設定】(16 ページ) へお進みください。

ご注意

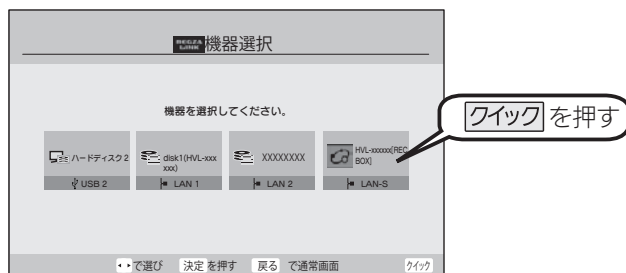
●設定画面表示中に、Web ブラウザーの [戻る] ボタンで前の画面に戻ることはできません。画面内に表示されるボタンを選択してください。

東芝ハイビジョン液晶テレビ〈レグザ〉から開く

※以下は、〈レグザ〉の Z7 シリーズの手順を記します。〈レグザ〉のシリーズによっては、一部手順が異なる場合があります。

1	リモコンの クラウドメニュー を押します。

2	クラウドメニューのマイページ内にある [メディアプレイヤー動画] にカーソルを合わせ、決定 を押します。

3	機器選択から RECBOX を選択し、クイック を押します。 (LAN-S に接続されています。)

4	クイックメニューの [機器情報] を選択し、本製品の [IP アドレス] の値を確認し、メモします。

5	〈レグザ〉取扱説明書内の「インターネットで情報を見る」の手順にしたがって、アドレスの入力画面を開きます。 手順4でメモした IP アドレスにしたがって、アドレス (URL) を入力します。 例）IP アドレスが“192.168.0.200”の場合、次のようにアドレス (URL) を入力します。 http://192.168.0.200/

本製品の設定画面が開きます。

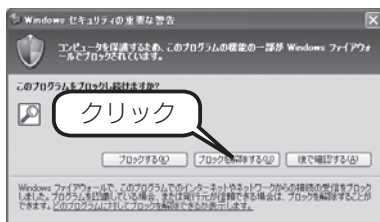
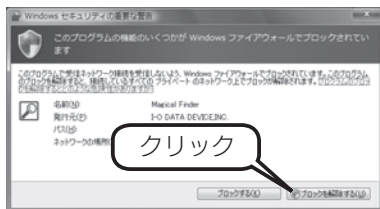
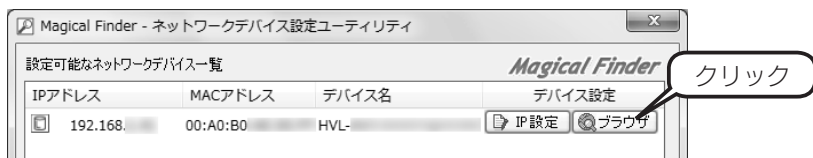
本製品の設定画面をお気に入りに登録しておくと、次回表示する時に便利です。

次に、【かんたん設定】(16 ページ) へお進みください。

パソコンから開く

1	弊社ホームページより「Magical Finder」をダウンロードし、起動します。 http://www.iodata.jp/r/3022 ※上記ページよりご利用の OS を選択し、ダウンロードしてください。 ※ダウンロードしたファイルを解凍後、「MagicalFinder.exe」を実行します。

ご注意

右の画面が表示された場合は、
［ブロックを解除する］を
クリックしてください。

右の画面が表示された場合は、
［ブロックを解除する］を
クリックしてください。
その後 [ユーザカウント制御] が
表示された場合は、「続行する」
をクリックしてください。

2	［ブラウザ］ボタンをクリックします。

本製品の設定画面が開きます。
次に、【かんたん設定】(16 ページ) へお進みください。

かんたん設定

スマートフォン / タブレットの場合

1	本製品の設定画面で、[かんたん設定] を選択します。

選択

2	各項目を設定し、[設定内容を確認する] を選択します。

①設定

②選択

名前を決める	本製品の名前を決めます。 [LANDISK 名] の欄をタップして入力します。自動で名前を設定する場合や初期設定に戻す場合は、[自動設定] をタップします。
アドレスを決める	本製品の IP アドレスを決めます。 初期設定では自動的に IP アドレスを取得する [DHCP 設定] が有効になっています。うまく IP アドレスが取得できない場合は無効にし、手動で設定します。
時刻の設定	時刻を設定します。 タイムサーバーと時刻同期する場合は、[有効] にして、[サーバー URL] に時刻同期を行うタイムサーバーの URL を指定します。手動で設定する場合は、[無効] にします。

3	設定した内容を確認して、[設定を行う] を選択します。

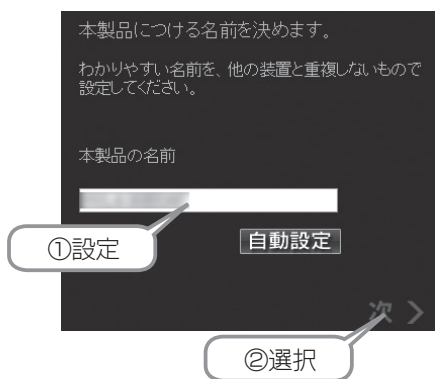
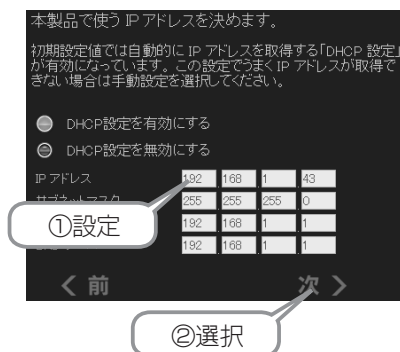
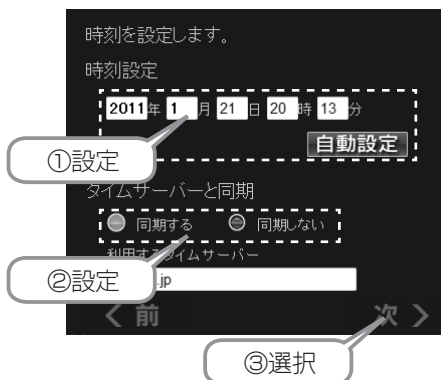
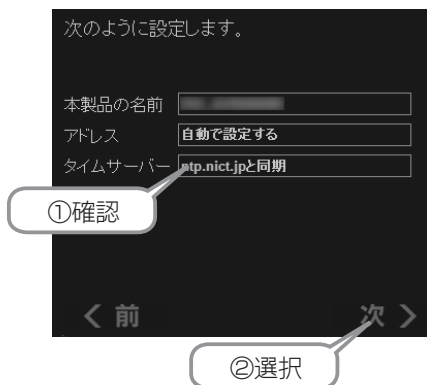
選択

以上でかんたん設定は完了です。

このあと、別冊の【録画・再生編】をご覧ください。

パソコンの場合

1	本製品の設定画面で、[かんたん設定]を選択します。

2	本製品の名前を変えることができます。 お好きな名前に変更するか、「自動設定] を選択すると自動で名前を設定することができます。 [次] を選択します。

3	本製品の IP アドレスを設定できます。 初期設定値では自動的に IP アドレスを取得する設定になっていますが、IP アドレスが取得できない場合は、手動にて設定することもできます。 [次] を選択します。

4	時刻設定ができます。 ①手動か自動で設定します。 <table><tr><td>手動設定</td><td>日付時刻を入力します。</td></tr><tr><td>自動設定</td><td>[自動設定]を押します。</td></tr></table>②タイムサーバーを使用する場合は、[同期する]を選択します。 ③［次］を選択します。

5	設定した内容の確認をして、［次］を選択します。 ※完了画面が表示されるまで、設定中は電源を切らないでください。

以上でかんたん設定は完了です。

このあと、別冊の【録画・再生編】をご覧ください。

パソコンからアクセスする

ご注意

本製品の [disk1] フォルダーや [contents] フォルダーを読み書きする場合は、ご使用の前に、以下の項目を必ずご確認ください。

●本製品のファイルやフォルダーに「読み取り専用」などの属性情報を設定することはできません。

●本製品で使用できるフォルダー名やファイル名には制限があります。詳細は、【文字制限】(68 ページ) をご覧ください。

●本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数に制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。推奨する同時接続台数は 8 台までとなります。

●ファイルコピー中や動作中に増設外付用ハードディスクの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
本製品の電源を切った後、増設用ハードディスクの ACCESS ランプを確認の上、電源を切ってください。

[参考] 本製品の IP アドレスを手動で設定する場合

【本製品の IP アドレスを手動で設定したい】(61 ページ) をご覧ください。

[参考] 本製品のフォルダーの役割について

本製品には以下の役割のフォルダーがあります。

フォルダー	役割	Windows 共有	DLNA 公開
contents	DLNA で、動画、音楽、写真などの対応ファイルを、このフォルダーに保存すると、DLNA 対応機器で、再生できます。	○	○
disk1	通常の共有フォルダーとしてご利用いただけます。文書ファイルや、DLNA で公開したくないファイルなどは、このフォルダーを利用します。	○	×
dlna	デジタルテレビからの録画番組のダビング先や、スカパー！プレミアムサービス Link(録画) の録画先として利用します。このフォルダーはパソコンからはアクセスできません。	×	○

※ contents フォルダーに大量の対象ファイルを一度におくと、DLNA のデータベース作成に、時間がかかる場合があります。製品の動作レスポンスが低下する場合がありますので、「スカパー！プレミアムサービス」などで録画予約を行っている場合は、予約時間帯を避けるなどしてください。

Windows 8、7からアクセスする

※ Windows 8 の場合は、デスクトップモードにします。

Windows 8でデスクトップモードにする

スタート画面上の [デスクトップ] アイコンをクリックします。

1	クイックバーの [エクスプローラー] をクリックします。

クリック

2	エクスプローラーのアドレスへ「¥¥HVL-xxxxxx」と入力し、[→] (または［Enter］キー）を押します。 検索された「¥¥HVL-xxxxxx」を選択します。 ※本製品の名前を変更した場合は、¥¥の後に変更した名前を入力してください。

本製品の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに [HVL-xxxxxx] の名前が設定されてます。
（xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁）
MAC アドレスは、本製品背面のシールに記載されています。
※ MAC アドレスは、0 ～ 9 の数字と A ～ F までのアルファベットで構成されています。

3	本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。 [disk1]、[contents] フォルダーをダブルクリックします。 表示された [disk1]、[contents] フォルダー内にファイルを書き込むことができます。 このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

ご注意

●本製品が見つからない場合は、【パソコンからのアクセス時に、[RECBOX] が見つからない】(56 ページ) をご覧ください。

Windows Vista からアクセスする

1	[スタート] をクリックし、[プログラムとファイルの検索] または [検索の開始] をクリック後、「¥¥HVL-xxxxxx」と入力し [Enter] キーを押します。 ※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。 ※ xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。

[参考] 本製品の名前について

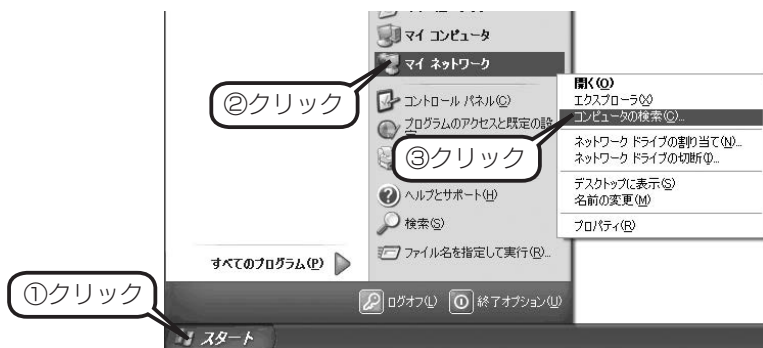
本製品は、出荷時設定として製品ごとに [HVL-xxxxxx] の名前が設定されてます。
（xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁）
MAC アドレスは、本製品背面のシールに記載されています。
※ MAC アドレスは、0 ～ 9 の数字と A ～ F までのアルファベットで構成されています。

ご注意

本製品が見つからない場合は、【パソコンからのアクセス時に、[RECBOX] が見つからない】(56 ページ) をご覧ください。

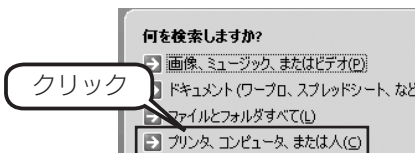
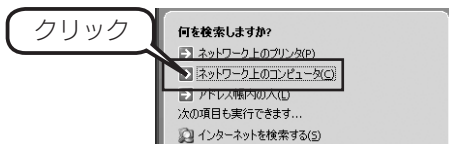
2	本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。 [disk1]、[contents] フォルダーをダブルクリックします。 表示された [disk1]、[contents] フォルダー内にファイルを書き込むことができます。 このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

Windows XP からアクセスする

1 ［スタート］→［マイネットワーク］→［コンピュータの検索］をクリックします。

ご注意

表示に［マイネットワーク］がない場合は、以下の手順を行います。

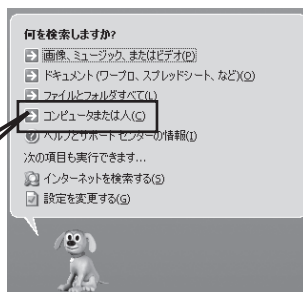
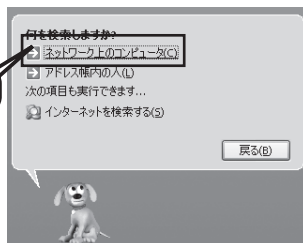
①［スタート］→［検索］をクリックします。

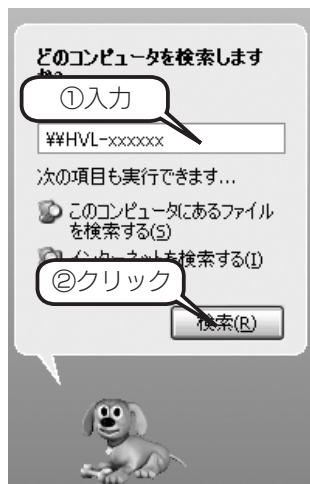
②「何を検索しますか?」で［プリンタ、コンピュータ、または人］をクリックします。

③「何を検索しますか?」で［ネットワーク上のコンピュータ］をクリックします。

ご注意

Windows サーチ 4.0 がインストールされている場合

①[マイネットワーク] を右クリックして、「コンピュータの検索」をクリックします。

②画面左下の「ここをクリックして検索コンパニオンを使用します。」をクリックします。

③左側メニューから「コンピュータまたは人」をクリックします。

④左側メニューから、「ネットワーク上のコンピュータ」をクリックします。

⑤コンピュータ名に該当の名前を入力し、[検索] ボタンをクリックします。

2	「どのコンピュータを検索しますか?」で [コンピュータ名] に「¥¥HVL-xxxxxx」と入力し [検索] ボタンをクリックします。※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。 ※ xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。

[参考] 本製品の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに [HVL-xxxxxx] の名前が設定されてます。

(xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁)

MAC アドレスは、本製品背面のシールに記載されています。

※ MAC アドレスは、0 〜 9 の数字と A 〜 F までのアルファベットで構成されています。

3	「RECBOX」が検索されますので、ダブルクリックします。 ※2つ表示された場合は、どちらかをダブルクリックします。Windows XP から、本製品のコンピュータ名で検索を行った場合、2 つの「RECBOX」が発見されることがあります。2 つのうちどちらかをダブルクリックしてください。これは、本製品が使用しているファームウェアによる仕様となります。

4	本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。 [disk1]、[contents] フォルダーをダブルクリックします。 表示された [disk1]、[contents] フォルダー内にファイルを書き込むことができます。 このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

USB ハードディスクを使う

本製品に USB ハードディスクを増設することにより、USB ハードディスクに記録されている DLNA 対応コンテンツをネットワーク上に公開することができます。

接続できる USB ハードディスク

対応フォーマット	FAT32、NTFS
容量	2T バイト以下の USB ハードディスク

ご注意

●最新の対応機器については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/r/4277) をご覧ください。

●接続した USB ハードディスクに録画、ダビングはできません。

●本製品に USB ハードディスクを接続する場合は、必ず USB ハードディスクに AC アダプターを使用してください。

USB ハードディスクの接続方法

ご注意

●本製品に接続できる USB ハードディスクは、FAT 形式または NTFS 形式のハードディスクのみです。
●本製品に USB ハードディスクを接続した状態で、パソコン内の DLNA コンテンツを直接 USB ハードディスクへコピーすることはできません。コンテンツをコピーする場合は、パソコンに USB ハードディスクを接続しておこなってください。
●以下では背面 USB ポートに接続する方法を説明しています。
前面 USB ポートに接続する場合は、接続前に設定画面の [ディスク] → [前面 USB ポートの動作モード設定] が [DLNA 共有モード] となっていることを確認します。

1	パソコンと USB ハードディスクを接続し、DLNA コンテンツをコピーします。
2	本製品の電源が入っていることを確認します。 ※本製品の電源が入っている状態で接続できます。
3	USB ハードディスクの電源を ON にします。 ※ USB ハードディスクの電源の入れ方については、USB ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。 電源連動機能がある場合は、電源ボタン（スイッチ）を［AUTO］または［ON］にします。本製品に接続するまで、USB ハードディスクの電源は入りませんが、問題ありません。 ※電源連動機能については、USB ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
4	本製品背面の USB ポートに、USB ハードディスクを接続します。

ご注意

●必ず、USB ハードディスクの電源を入れてから、本製品に接続してください。
●録画中や各種ランプが点滅中は、USB ハードディスクを接続しないでください。
●ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、STATUS ランプが赤点灯した場合は、USB ハードディスクが FAT/NTFS 形式ではありません。パソコンに直接接続して必要なデータのバックアップの後、フォーマットしてください。

5	お使いの〈レグザ〉やパソコンから、本製品に接続した USB ハードディスク内のコンテンツが再生できることをご確認ください。

以上で接続は完了です。

USB ハードディスクを取り外すには

取り外し時は、本製品の電源が入っている状態でも取り外すことができます。
下記の手順にしたがって取り外しを行ってください。

ご注意

- 増設した USB ハードディスクのアクセス中に、本製品や接続した USB ハードディスクの電源を切らないでください。
- 本製品動作中に以下の手順を行わずに取り外すと、データの破損や本製品や USB ハードディスクの故障の原因になります。
  何らかの理由で、USB ハードディスクにアクセスが行われている最中に、取り外すとデータが破損するばかりか、本製品や USB ハードディスクの故障の原因になります。必ず以下の手順を行ってください。
- 本製品をシャットダウンし、本製品の電源を切った後に取り外すこともできます。

1	● FUNC スイッチによる取り外し（前面 USB ポートに接続している場合のみ） 本製品前面の FUNC スイッチを長押しします。 ● Web ブラウザーの設定画面からの取り外し [詳細設定] → [ディスク] → [USB 機器の取り外し] を選択し、取り外すポート（前面ポートまたは背面ポート）を選択して、[OK] ボタンをクリックします。
2	電源ランプが点灯し、「ピー」となったら、USB ハードディスクを本製品から取り外します。
3	USB ハードディスクの電源を切ります。電源連動機能がある場合はケーブルを取り外した時点で、電源が切れます。 ※ USB ハードディスクの電源の切り方についてはお使いの USB ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

以上で操作は完了です。

ご注意

- データが破損する可能性がありますので、録画やダビングなど本製品へのアクセス時に、USB ハードディスクを接続したり、取り外すことはしないでください。

デジカメコピー機能を使う

本製品前面の USB ポートにデジカメや USB メモリーを挿すだけで、データをコピーすることができます。

ご注意

- ●本製品の OS により、ドット（.）で始まるファイルやフォルダーは隠し属性として扱われ、これらのファイルやフォルダーもコピーされます。
- ●マルチポートリーダー / ライターを使用してデジカメコピーをおこなう場合は、コピー対象のメディアのみを挿入し、他のメディアを外した状態でおこなってください。
- ●デジカメコピーは、前面 USB ポートの動作モード設定がデジカメコピーモード（装置初期設定）の場合に動作します。DLNA 共有モードになっている場合は、デジカメコピーは動作しません。[ディスク] → [前面 USB ポートの動作モード設定] で設定できます。

デジカメコピーをする

1	本製品前面の USB ポートにデジカメや USB メモリーを接続します。 STATUS ランプが点滅し、しばらくすると点灯します。

2	前面の FUNC スイッチを長押しします。 →デジカメコピーが開始します。コピー中は、STATUS ランプが点滅します。 " ピッ、ピッ、ピッ " と音が鳴り、点滅が点灯に変わったらコピー完了です。

3	そのままデジカメや USB メモリーを取り外すことができます。

以上でコピーは完了です。

データコピー先について

本製品の内蔵ハードディスクの [contents] フォルダーの下に、自動で生成される [cameracopy] フォルダー内に接続したデジカメや USB メモリーのデータがコピーされます。コピー先のフォルダーに既に同一ファイル名で、サイズまたは更新時刻が異なるファイルが存在している場合、新規にコピーするファイル名は、3 桁数字をファイル名に追加して新規ファイルをコピーします。（例：AAA.jpg　→　AAA(001).jpg）

コピーしたデータを確認する

1	ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示させます。

2	[contents] フォルダーをダブルクリックします。

3	[cameracopy] フォルダーが作成されていることを確認し、ダブルクリックします。

[cameracopy] フォルダーとは

デジカメコピーを行った場合に自動で作成されるフォルダーです。

ログファイルついて

デジカメコピーは、コピー先共有フォルダーの [cameracopy] に [コピーした年月日 - 時刻] ファイルを自動的に作成します。ログファイルを確認することで、コピー結果を確認することができます。

・出力形式（UTF-8、CRLF 改行）

[1 行目：（ファイル名 or フォルダー名）追加情報]

追加情報一覧

COPY	新規ファイルをコピー
COPY（RENAME：新しいファイル名）	既存ファイルをリネームコピー
COPYERROR	新規ファイルをコピー失敗
COPYERROR（RENAME）	新規ファイルをリネーム失敗
COPYERROR（RENAME：新しいファイル名）	新規ファイルをリネームコピー失敗
MKDIR	新規フォルダーを作成
SKIP	既存ファイルをスキップ

実行結果一覧

SUCCESS.（xxx files copied.）	コピー成功。xxx 個のファイルがコピーされました。
ERROR.（xxx files copied.）	コピー失敗。xxx 個のファイルがコピーされました。

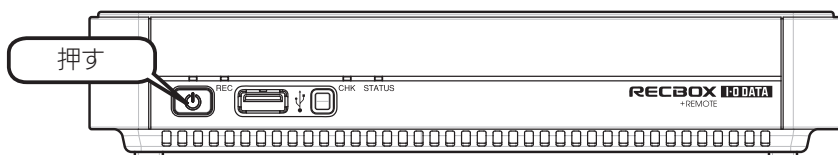
xxx の数値には、MKDIR、SKIP、COPYERROR の数は含まれません。

4	年月日のフォルダーが作成されていることを確認後、ダブルクリックし、ファイルがコピーされているかご確認ください。 →コピーしたファイルが表示されます。

年月日 - 時刻フォルダーについて

[cameracopy] フォルダーの下に、コピーしたファイルの年月日をもとにして、自動で作成されるフォルダーです。
上記画面の例（[20130101]）は、ファイルの作成日付（または更新日）が、2013 年 1 月 1 日のファイルがコピーされた場合の例です。

電源を切る場合

1	本製品前面にある [電源] スイッチを「ピッ」となるまで長押しします。

2	電源ランプが [緑点滅] から [消灯] に変わったら、正しく電源が切れました。

ご注意

●自動アップデート機能が有効の場合、電源が切れる際に、本製品のファームウェアのダウンロードおよびアップデートが動作することがあります。その場合、電源が切れるまで10 ～ 20 分くらいかかる場合があります。[電源] ランプが消灯することを確認するまでは本製品の電源プラグを抜かないでください。

他の設定

ご注意

● [コンテンツ操作] については、別冊の【録画・再生編】をご覧ください。

詳細設定

[詳細設定] では、本製品の各種設定ができます。

1 本製品の設定画面で、[詳細設定] を選択します。

2 本製品の設定画面が表示されます。
各項目については、以下をご覧ください。

項目	設定内容	参照ページ
セキュリティ設定	ネットワーク上に検出された機器のアクセス設定を行います。 ※パソコンからのみ設定できます。	34 ページ
システム設定	本製品のシステム設定を行います。 ・ランプの明るさ ・自動アップデート機能 ・カテゴリ表示 ・フォルダー公開	35 ページ
録画設定	「視聴年齢制限レベルの変更」、本製品に対して「録画予約」、「予約ムーブ」が設定されている予約の一覧を表示します。	36 ページ
シャットダウン	システムのシャットダウン、再起動を行います。	38 ページ
ディスク	本製品の省電力設定および、内蔵 HDD のチェックディスクやフォーマット、前面 USB ポートの動作モード設定、USB 機器の取り外しをおこないます。	39 ページ
システム初期化	本製品を初期設定に戻します。	40 ページ
ファームウェア更新	本製品のファームウェア更新を行います。 ※ファームウェアの自動アップデート機能を無効に設定している場合のみ	41 ページ

[セキュリティ設定]

※パソコンからのみ設定できます。

▼セキュリティ設定

本製品のセキュリティ設定を行います。
MACアドレス別アクセス設定
許可 禁止 削除 MACアドレス
上記リスト以外の機器からのアクセス設定
接続を許可 接続を禁止
OK

▼宅外アクセス機能設定

宅外アクセス機能設定を行います。
機器名/MACアドレス
[DiXiM Digital TV 2013]
すべて選択 選択解除 削除
戻る

▼セキュリティ設定

MAC アドレス別アクセス設定	ネットワーク上で検出された機器の MAC アドレス別にアクセスの [許可]、[禁止]、[削除] の動作を設定できます。
上記リスト以外の機器からのアクセス設定	[MAC アドレス別アクセス設定] にて設定した機器以外からのアクセスを設定します。

ご注意

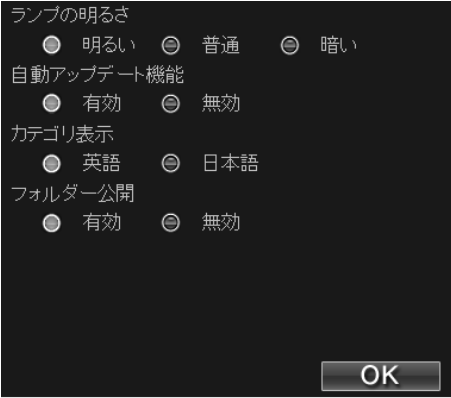
● DLNA クライアントのみが設定対象で、パソコンなど Microsoft ネットワーク共有経由でアクセスするクライアントは制限設定の対象外となります。

●ファームウェアアップデートを行った際には、セキュリティ設定は消去されます。ファームアップ後、再度設定ください。

▼宅外アクセス機能設定

LAN 内で登録したリモート再生機器一覧が表示されます。

一覧に表示されたリモート再生機器の登録の解除ができます。

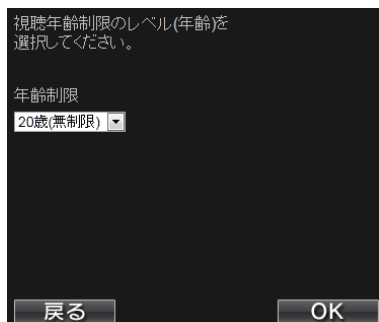
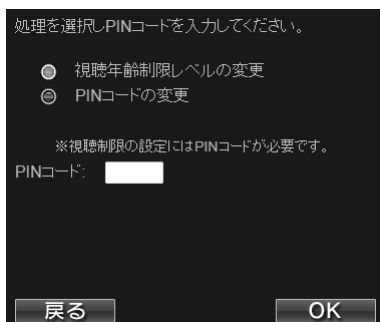
[システム設定]

ランプの明るさ	明るい（出荷時設定）	最も明るい設定です。
	普通	若干明るさを抑えた設定です。
	暗い	最も暗い設定です。
自動アップデート機能	本製品がインターネット接続されている状態で、新しいファームウェアが公開されている場合、本製品のシャットダウン時または再起動時に、自動的に最新のファームウェアに更新します。(出荷時設定：有効)	
カテゴリ表示	DTCP-IP 対応機器でコンテンツを再生する際、コンテンツの各種カテゴリ表示を英語表記 / 日本語表記にするか設定します。(出荷時設定：日本語)	
フォルダー公開	コンテンツを共有するフォルダー公開の [有効]･[無効] を設定します。無効に設定した場合、パソコンから [disk1][contents] フォルダーへアクセスできなくなります。	

初期設定
他の設定
困ったときには
仕様

[録画設定]

視聴年齢制限	視聴年齢制限レベルの変更、または PIN コードの変更を行います。
録画予約リスト	本製品に対して「録画予約」、「予約ムーブ」が設定されている予約の一覧を表示します。

視聴年齢制限

コンテンツ操作画面にて視聴年齢制限コンテンツに対する各種操作や、タイトル表示を制限することができます。

視聴年齢制限レベルの変更	視聴年齢制限レベルの変更を行います。（4 歳、5 歳、6 歳、7 歳、8 歳、9 歳、10 歳、11 歳、12 歳、13 歳、14 歳、15 歳、16 歳、17 歳、18 歳、19 歳、20 歳（無制限）） 設定された年齢を上回る視聴年齢制限コンテンツについて制限の対象となります。 初期値：20 歳（無制限）
PIN コードの変更	視聴年齢制限の設定に必要な PIN コードの変更を行います。 PIN コードは、視聴年齢制限の設定を変更する時や解除する時に必要な暗証番号です。半角数字４ケタで入力します。 PIN コード初期値：0000

ご注意

- PIN コードは忘れないようにしてください。
- 本設定は、主に本製品のコンテンツ操作画面での操作や表示を制限するためのものです。本設定を行っても、お使いのスカパー！プレミアムサービス対応チューナーやセットトップボックスの動作には影響されず、制限されません。お使いのスカパー！プレミアムサービス対応チューナーやセットトップボックスの視聴年齢制限設定もあわせて設定することをおすすめします。

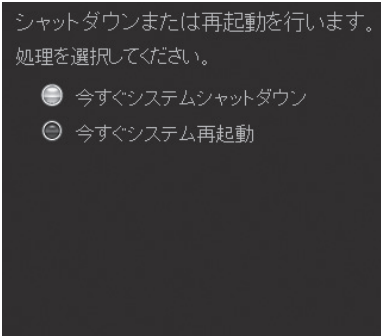
録画予約リスト

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーなどから、RECBOX への録画やムーブの予約されたときの予約情報を一覧表示します。

すべて選択	予約リストに表示されている予約をすべて選択します。
選択解除	選択を解除します。
削除	選択した予約を削除します。 スカパー！ プレミアムサービス対応チューナーを初期化した場合など、チューナー側の予約録画情報と本製品の予約録画情報に差異が生じた場合、本製品の予約録画情報を削除し、チューナー側で録画予約を設定しなおす必要があります。この場合に、本製品の予約録画情報を削除します。 リセットスイッチを 1 秒以上長押しすることでも予約録画情報を削除できます。

ご注意

リセットスイッチで予約録画情報を削除する場合、IP アドレス設定も初期化されますのでご注意ください。

「スカパー！ダビング」に対応したスカパー！ブランド HD 対応 DVR/ チューナーは、右のマークが目印です。

[シャットダウン]

今すぐシステムシャットダウン	本製品をシャットダウンします。 シャットダウン処理ではシステムの電源を安全に切断できるよう、設定情報や管理情報の更新作業の他、一時記憶されているデータファイルの保存作業を行います。[電源] ランプが消灯するまでそのままお待ちください。[電源] ランプが消灯することを確認するまでは本製品の電源プラグを抜かないでください。
今すぐシステム再起動	本製品を再起動します。

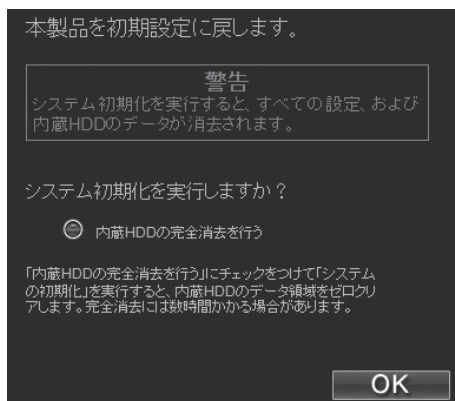
ご注意

[システム設定] にて自動アップデート機能が有効の場合、シャットダウンおよび再起動時にファームウェアのダウンロードおよびアップデートが動作することがあります。
その場合、シャットダウンおよび再起動に 10 ～ 20 分くらいかかることがあります。

[ディスク]

▼省電力設定選択時

内蔵 HDD のチェックディスク	内蔵ハードディスクに論理的なエラーが発生してないか調査します。エラーがあった場合には、ファイル構造を修復します。
内蔵 HDD のフォーマット	内蔵ハードディスクをフォーマットします。
内蔵 HDD の省電力設定	設定時間を変更する場合や、省電力機能を無効にする場合に選択します。(出荷時設定：30 分後) ※無効にする場合は「なし」を選択してください。
前面 USB ポートの動作モード設定	前面 USB モードの設定を変更します。 出荷時はデジカメコピーモードに設定されていますが、DLNA 共有モードに変更することができます。
USB 機器の取り外し	DLNA 共有モードで使用している USB 機器を取り外し処理をおこないます。

［システム初期化］

すべての項目を本製品の出荷時設定値に戻し、内蔵ハードディスクもフォーマットします。

出荷時設定については、【出荷時設定】(67 ページ) をご覧ください。

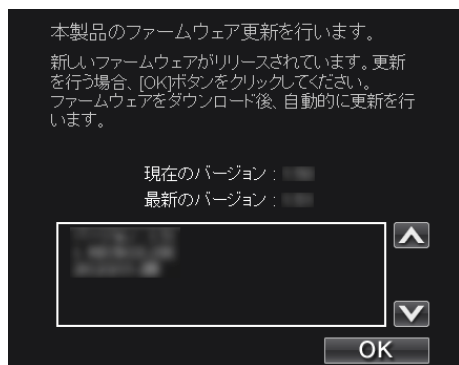
IP アドレスのみを出荷時設定に戻す場合は、【IP アドレスを出荷時設定に戻したい】(61 ページ) をご覧ください。

内蔵 HDD の完全消去を行う	出荷時設定へ戻すと同時に内蔵ハードディスクの全てのデータ領域に 0（ゼロ）を書き込みます。

ご注意

● [内蔵 HDD の完全消去を行う] を実行する場合、完全消去に時間がかかります。
（目安として、1T バイトあたり約 4 時間ほど要します。）

●本製品を廃棄や譲渡する場合、[内蔵 HDD の完全消去を行う] を実行してください。

[ファームウェア更新]

本製品の設定で自動アップデート機能を [無効] に設定している場合、ファームウェア更新を [手動] で行う必要があります。

※ファームウェア更新方法は、【●本製品の設定画面からファームウェアの更新を行う場合】(43 ページ) をご覧ください。

自動アップデート機能を [有効] に設定している場合は、自動でファームウェア更新が行われますので不要です。(出荷時設定：有効)

※自動アップデート機能の設定内容の確認方法は、【[システム設定]】(35 ページ) をご覧ください。

本製品は、「最新ファームウェア自動チェック機能」が搭載されています。最新ファームウェアが公開されている場合、本製品の CHK ランプが橙点灯します。

●最新ファームウェア自動チェック機能

インターネットに接続され弊社ホームページへの接続が可能な場合、定期的 (起動時と 1 日 1 回の 2 つのタイミング) に最新ファームウェアが公開されていないか自動的にチェックを行う機能です。最新ファームウェアが公開されている場合、本製品の CHK ランプが橙点灯します。

本製品の CHK ランプが橙点灯の場合、次ページの手順にてファームウェア更新を行ってください。

●本製品のシャットダウン時や再起動時に最新ファームウェアに更新する場合

1	本製品の電源を切ります。 本製品前面の [電源] ボタンを、「ピッ」となるまで長押しします。 →本製品がシャットダウンします。 ※ファームウェア更新のため、電源が切れるまで 10 ～ 20 分程度かかる場合があります。

2	本製品を起動します。 本製品前面の [電源] ボタンを押します。 「ピー」と鳴り、電源ランプが緑点灯すれば、本製品の起動完了です。

3	本製品の設定画面の [詳細設定] → [ファームウェア更新] を開き、ファームウェアバージョンが最新になっていることを確認します。

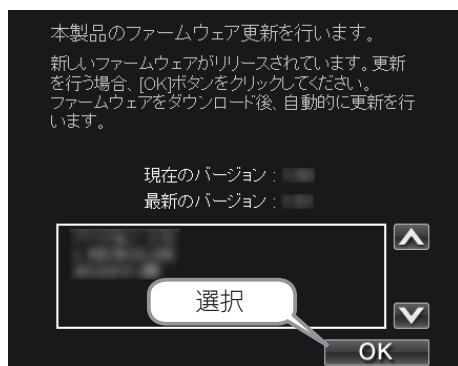
これで、ファームウェアの更新は完了です。

●本製品の設定画面からファームウェアの更新を行う場合

※あらかじめ、本製品をインターネット環境に接続しておく必要があります。

1	設定画面を開きます。 ※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(12 ページ) をご覧ください。

2	[詳細設定] → [ファームウェア更新] の順に選択します。 ファームウェアのバージョン確認が自動で行われます。しばらくお待ちください。 →確認結果が表示されます。

3	[OK] を選択し、[決定] ボタンを押します。 →ファームウェアのダウンロードと更新が始まります。 ※ファームウェアの更新には、10 ～ 20 分程度かかります。

ご注意

●ファームウェア更新中は本製品の電源を切らないでください。

●本製品アクセス時には、ファームウェア更新は行わないでください。

●ファームウェア更新が 30 分以上経っても終わらない場合は、【ファームウェアの更新が終わらない】(60 ページ) をご覧ください。

4	ファームウェアの更新が完了後、本製品は自動的に再起動します。 ※ファームウェア更新が終了しても、画面表示は変わりません。本製品の CHK ランプが消灯したら、更新完了です。

これで、ファームウェアの更新は完了です。

●オフラインでファームウェアを更新する場合

本製品がインターネット環境に接続されていない場合でも、お手持ちのUSBメモリーで、本製品のファームウェアを更新することができます。

※あらかじめ「自動アップデート機能」を有効にしておく必要があります。（初期値：有効）また、あらかじめ本製品を起動しておいてください。

1	FATフォーマットされたUSBメモリーを1本用意します。 ※FATフォーマットではない場合は、パソコンでFAT形式でフォーマットしてください。
2	弊社ホームページのサポートライブラリよりファームウェアをダウンロードします。 　＜ダウンロードページ＞　→　http://www.iodata.jp/lib/ 上記ページの「製品型番から探す」の製品名の先頭文字「H」より、お使いの製品型番を選択し、ダウンロードページにお進みください。
3	ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。展開されたファイル内の以下を手順1で準備したUSBメモリーにコピーします。 HVL-ATシリーズの場合：「update_hvlat.tgz.enc」、「HVL-AT.xml」 HVL-Aシリーズの場合：「update_hvla.tgz.enc」、「HVL-A.xml」
4	本製品前面のUSBポートにファイルをコピーしたUSBメモリーを接続します。 [電源]ランプが[緑点滅]→[緑点灯]と変化し、「ピー」とブザー音が鳴ります。
5	本製品前面の[電源]ボタンを、「ピッ」となるまで長押しします。 →本製品がシャットダウンします。 ※ファームウェア更新のため、電源が切れるまで10～20分程度かかる場合があります。
6	USBメモリーを抜いて本製品前面の[電源]ボタンを押します。 →「ピー」と鳴り、電源ランプが緑点灯すれば、本製品の起動は完了です。
7	本製品の設定画面の[詳細設定]→[ファームウェア更新]を開き、ファームウェアバージョンが最新になっていることを確認します。

これで、ファームウェアの更新は完了です。

ディスク状況表示

内蔵 HDD 、接続されている USB ハードディスクの状況を表示します。

1	本製品の設定画面で、[ディスク状況表示] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(12 ページ) をご覧ください。

2	[ディスク状況表示] 画面が表示されます。

※ USB ハードディスクを接続した場合の例

総容量	ボリューム全体の容量を表示します。 (1Kbyte = 1000byte にて算出しています。)
空き容量	ボリュームの空き容量を表示します。%は空き容量の占める割合です。 (1Kbyte = 1000byte にて算出しています。)

トランスコーダー	トランスコード機能が利用可能か表示します。	
	正常動作しています	トランスコード機能をご利用いただけます。
	未接続	トランスコード機能を利用できません。 GV-TRC/USB が正しく接続されているかご確認ください。 (HVL-A シリーズの場合のみ)

ご注意

●前面 USB ポートがデジカメコピーモードに設定されている場合は、USB メモリー等が接続されていても USB1 接続 HDD 欄は「未使用」と表示されます。

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

アイ・オー・データ　ホームページをご覧ください

URL [http://www.iodata.jp/support/]

サポートページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

本製品起動時のトラブル

セットアップ時のトラブル

本製品へアクセス時のトラブル

設定画面のトラブル

本製品の IP アドレスについて

ランプやブザーについて

【ランプの動作について知りたい】(63 ページ)
【STATUS ランプが赤点灯している】(63 ページ)
【CHK ランプが橙点灯している】(63 ページ)

内蔵や USB ハードディスクについて

【USB ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について】(63 ページ)
【デフラグ機能はありますか?】(63 ページ)

その他

【タイムサーバーとの同期が行われない】(64 ページ)
【突然電源が切れた】(64 ページ)
【DLNA 公開できるコンテンツ数に制限はありますか?】(64 ページ)

本製品起動時のトラブル

本製品の電源を入れると、STATUS ランプが赤点灯し、ブザーが「ピー」と 3 回鳴った

原因	USB ハードディスクが正しく接続できていない。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が本製品に接続した場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点灯で表示します。この場合は該当する接続した機器を本製品から取り外してください。STATUS ランプが消灯します。（しばらくすると電源ランプは緑点灯に変わります。）

電源投入時に「ピピピピピ」とブザーが鳴り続け、STATUS ランプが赤点灯した

対処	システム起動ができない状態です。電源を切り、しばらく時間を空けて起動し直してお試しください。 それでも状態が変わらない場合は、本製品を弊社修理センターで点検させていただきますので、修理センターまでお送りください。（送付方法等は、【アフターサービス】(69 ページ) をご確認ください。）

セットアップ時のトラブル

現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない

対処	ご使用のネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きの ADSL モデム」などがある場合は、これらの DHCP サーバー機能を使用している可能性があります。 以下の【方法１】または【方法２】などの手順で確認できます。

【方法１】パソコンの IP アドレスの設定で確認する

すでにネットワーク内にあるインターネットなどに正常にアクセスできるパソコンの IP アドレスの設定で確認できます。

（IP アドレスの設定が [DHCP サーバーから取得する] 設定になっていて正常に LAN 内で使用できている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあります。）

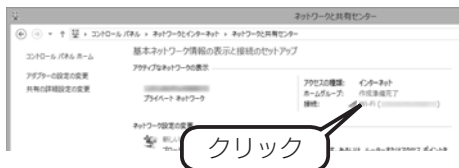
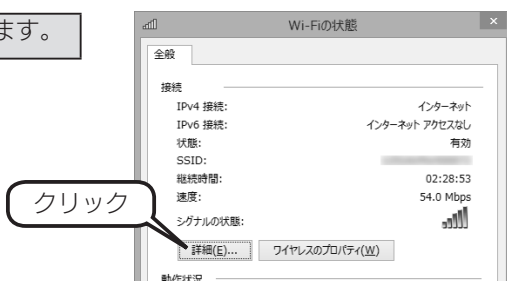
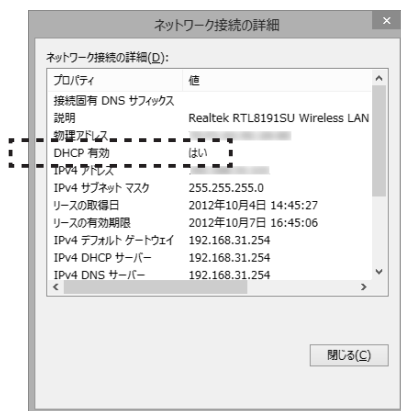
● Windows 8 の場合

1	画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。

2	[コントロールパネル] アイコンをクリックします。

3	[ネットワークとインターネット] をクリックします。

4	[ネットワークと共有センター] をクリックします。

5	[接続] の横の値をクリックします。

6	[詳細] ボタンをクリックします。

7	[DHCP 有効] 欄に [はい] と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

● Windows 7、Vista の場合

1	Windows 7 の場合は、［スタート］→［コンピューター］→［ネットワーク］をクリックします。 Windows Vista の場合は、［スタート］→［ネットワーク］をクリックします。

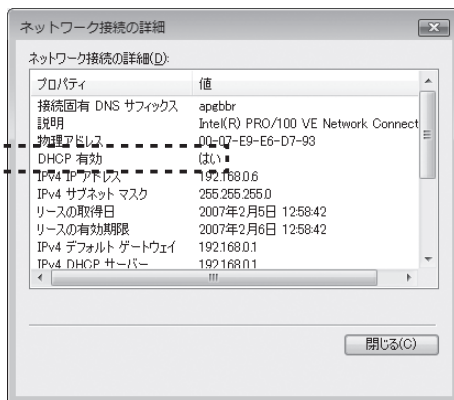
2	［ネットワークと共有センター］をクリックします。

3	Windows 7 の場合は、[ローカル エリア接続] をクリックします。 Windows Vista の場合は、［状態の表示] をクリックします。

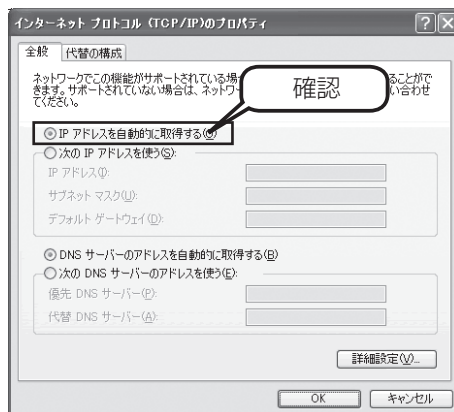
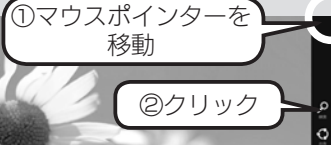
▼Windows 7 の場合

▼Windows Vista の場合

4	[詳細] をクリックします。

5	[DHCP 有効] 欄に [はい] と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

● Windows XP の場合

1	パソコンの IP アドレスを確認できる画面を開きます。

2	パソコンの IP アドレスの設定が、[IP アドレスを自動的に取得（する）] となっている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあると考えられます。

【方法2】Windows 標準添付のツールを使って確認する

Windows 標準添付のツールで DHCP サーバーを利用しているかを確認できます。

1

● Windows 8 の場合

画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、［検索］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

①マウスポインターを移動

②クリック

● Windows 7、Vista、XP の場合

［スタート］→［(すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。

2

IPCONFIG　–ALL　（G と - の間にスペースが入ります）

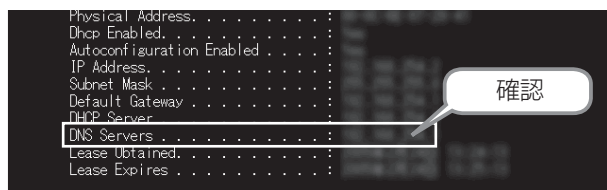
と入力して［Enter］キーを押します。

3

● Windows 8、7、Vista の場合

DHCP 有効の欄に「はい」が表示されている場合は、DHCP サーバーがあります。

● Windows XP の場合

[DHCP Server] 欄にアドレス（DHCP サーバーのアドレス）が表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

USB 機器を接続したら、STATUS ランプが赤点灯し、ブザーが「ピー」と 3 回鳴った

原因	USB ハードディスクが正しく接続できていない。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点灯で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。STATUS ランプが消灯します。(しばらくすると電源ランプは緑点灯に変わります。)

[Magical Finder] で本製品が検索されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか([電源] ランプが緑点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。
対処	他のパソコンで [Magical Finder] を起動してご確認ください。

原因	古いバージョンの Magical Finder を使用してる。(本製品に対応していない。)
対処	弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/r/3022)から最新の [Magical Finder] をダウンロードし、再度確認してください。

原因	セキュリティ関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティ関連のソフトウェア(ファイアウォールソフト)の動作を一時的に停止して、本製品が検索されるかどうかをお試しください。 また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、[Magical Finder] をファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。 (詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください)。

<参考:Windows 8 の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。
②画面の右上(下)にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリックします。
③ [コントロールパネル] アイコンをクリックします。
④コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォール」と入力します。
⑤「Windows ファイアウォール」の [Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可] をクリックし、画面内の [設定の変更] ボタンをクリックします。
⑥一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、[OK] ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

<参考：Windows 7 の Windows ファイアウォール機能の除外設定>
①あらかじめ [Magical Finder] をパソコンにインストールします。
解凍したファイルの [INSTALL] フォルダー内 [SETUP.EXE] を起動し、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。
②［スタート］-［コントロールパネル］を開き、コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」と入力します。
③ [Windows ファイアウォール]-[許可されたプログラム] の画面が開いたら、画面内の [設定の変更] ボタンをクリックします。
④一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、［OK］ボタンをクリックします。
以上で設定は完了です。

<参考：Windows Vista の Windows ファイアウォール機能の除外設定>
①あらかじめ [Magical Finder] をパソコンにインストールします。
解凍したファイルの [INSTALL] フォルダー内 [SETUP.EXE] を起動し、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。
②［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。
※ユーザカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。
③［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
④一覧から [Magical Finder] を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑤「プログラムおよびサービス」の一覧に [Magical Finder] が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。
以上で設定は完了です。

<参考：Windows XP ServicePack3 の Windows ファイアウォール機能の除外設定>
①あらかじめ [Magical Finder] をパソコンにインストールします。
解凍したファイルの [INSTALL] フォルダー内 [SETUP.EXE] を起動し、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。
②［スタート］-［コントロールパネル］-［セキュリティセンター］を開きます。
③一番下の「Windows ファイアウォール」をクリックします。
④［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
⑤一覧から [Magical Finder] を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑥「プログラムおよびサービス」の一覧に [Magical Finder] が追加されることを確認し、
［OK］ボタンをクリックします。
以上で設定は完了です。

原因	本製品が再起動中である
対処	本製品が起動するまで（[電源] ランプが緑点灯するまで）お待ちください。

パソコンの IP アドレスがわからない

対処	[Magical Finder] で確認することができます。弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/r/3022) からダウンロードして、以下の方法で確認してください。

●パソコンの IP アドレスを確認する

1	[Magical Finder] を起動します。

2	[IP 設定］ボタンをクリックします。

3	管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、[OK] ボタンをクリックします。

4	表示された［IP アドレス設定］画面の［このコンピュータの IP アドレス］で確認できます。

初期設定
他の設定
困ったときには
仕様

本製品へアクセス時のトラブル

パソコンからのアクセス時に、[RECBOX] が見つからない

原因	フォルダー公開が有効になっていない。
対処	設定画面の［詳細設定］→［フォルダー公開］で、[コンテンツフォルダー公開] を「有効」にしてください。

原因	ネットワークの参照に時間がかかっている。
対処	［表示］メニュー→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因	本製品がネットワークに正しく接続されていない。
対処	本製品の電源が入っているか（[電源] ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。
対処	ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュー名（初期値は 「HVL-xxxxxx」）を使用できるように設定してください。 詳しくはお使いのソフトウェアの説明書をご覧ください。

原因	本製品の IP アドレスを変更後、検索しようとしている。
対処	パソコンを一度再起動する必要があります。 Windows が以前の情報を保持しているため、再起動で保持している情報を一度クリアする必要があるからです。

原因	Windows のネットワーク機能が不安定なため、ネットワーク参照が正しく行えない。
対処	・設定画面が開けることをご確認ください。 ・LAN アダプターが正常に認識されていることをご確認ください。（詳しくは、お使いのパソコンまたは、各 LAN アダプターの取扱説明書をご覧ください。）

原因	パソコン側の名前解決がうまくいっておらず、[HVL-xxxxxx](コンピュータ名) の文字での検索では検索されない。
対処	弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/r/3022) からダウンロードした [Magical Finder] を起動します。[Magical Finder] を起動すると、自動で本製品を検出し、設定されている IP アドレスが表示されます。表示された IP アドレスを入力して検索してください。

原因	お使いのネットワークの IP アドレスのセグメントが本製品の IP アドレスと異なっている。
対処	▼ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーをお使いの環境の場合 →いったん本製品の電源を入れ直して、再度検索できるかどうかお試しください。 ▼ DHCP サーバーがない場合 →本製品の IP アドレスをお使いのネットワークに合った IP アドレスに変更してください。

原因	すでに RECBOX を使用しているネットワーク内へ本製品を導入する際に、本製品の名前が重複している。
対処	本製品を複数台使用する場合は、本製品の名前をすでに導入済みの RECBOX と重複しない名前に変更する必要があります。 本製品の名前は、[Magical Finder] を起動し、IP アドレスの設定で [LANDISK の名前] を変更するか、【かんたん設定】(16 ページ) から変更できます。

原因	本製品とお使いのパソコンのワークグループ名が異なる。
対処	本製品とパソコンのワークグループ名を一致するように設定してください。

ネットワーク上で認識されない、録画機器として登録できない、突然認識されなくなった

対処	以下の点についてご確認ください。 ① Web ブラウザーから以下のページを開き、ご利用の機器が本製品の対応機種であるかをご確認ください。 http://www.iodata.jp/product/av/taiou/landisk_hvla.htm ②各機器の電源を入れ直してください。 念のため、電源コンセントの抜き挿しもおこなってください。 ③本製品の LAN ポートに LAN ケーブルがしっかりと挿さっているか、また、本製品の接続先の LAN ケーブルが抜けかかっていないかをご確認ください。 LAN ケーブルの接続状態に問題がない場合で、予備の LAN ケーブルがあれば、予備の LAN ケーブルに交換してご確認ください。 ④ [電源] ランプが緑点灯になっているかを確認します。 STATUS ランプが赤点灯していないことを確認します。 ⑤本製品の設定画面より、内蔵 HDD のチェックディスクを実行してください。 方法は次ページをご覧ください。

チェックディスクの実行方法

※以下の実行にはパソコンが必要です。

１．かんたん IP アドレス設定ツール「Magical Finder」をダウンロードします。

①インターネットに接続できるパソコンで、弊社ホームページの以下にアクセスします。

http://www.iodata.jp/r/3022

②ご利用の OS アイコンを選択し、Magical Finder をダウンロードします。

③ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍します。

解凍するとデスクトップ上に「mfinderxxx」(xxx の部分はバージョン）の名前が付いたフォルダーができます。

２．本製品とパソコンを LAN 接続します。

※すでに本製品とパソコンが同じネットワークに接続されている場合は、３．へお進みください。

①ネットワーク内のパソコン、ルーター、無線の場合はアクセスポイントなどが正常に動作していることを確認します。

②本製品の電源が入っている場合は、いったん電源を切ります。

③本製品背面の LAN ポートとご利用のルーターやハブなどを LAN ケーブルで接続します。（本製品とパソコンを同じネットワークに接続します。）

④本製品の電源を入れます。

⑤ Magical Finder をダウンロードしたパソコンを起動します。

３．Magical Finder を利用して、本製品の設定画面にアクセスします

①デスクトップ上の [mfinderxxx] → [FINDER] → [MAGICALFINDER.EXE] をダブルクリックします。⇒ Magical Finder が起動します

②ネットワーク上の本製品が検索されますので、[ブラウザ] ボタンをクリックします。

４．チェックディスクを実行します。

①本製品の設定画面から、[詳細設定] → [ディスク] を選択します。

② [内蔵 HDD のチェックディスク] を選択し、[OK] ボタンをクリッ クします。

設定画面のトラブル

設定画面で文字が入力できない

原因	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

原因	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。 本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。【文字制限】(68 ページ) をご覧ください。

設定画面上から入力できる文字制限について

対処	【文字制限】(68 ページ) をご覧ください。

「現在システムは処理中です。しばらく待ってから操作してください。」と表示された

原因	システムの処理に忙しく、処理が追いついていない。
対処	他の設定処理が実行中でないかご確認ください。 設定処理の途中で別の設定を行おうとすると上記メッセージが表示されることがあります。しばらく待ってから、再度操作を行ってください。

原因	ファームウェアが正常に動作していない。
対処	①いったん、本製品の電源を入れ直して、同様の操作をしてみてください。 ②本製品の初期化を行ってください。【システム初期化】(40 ページ) をご覧ください。

設定画面の動作が遅い

原因	ファイル転送中など、本製品の処理動作中である。
対処	以下の動作中は、本製品の操作・動作が遅くなる場合あります。 処理が終了するまでお待ちください。 ・ファイル再生中 / ムーブ中　・DLNA データベース更新中　・スピンアップ中

原因	無線 LAN の通信状態が良くない。
対処	スマートフォンなどから設定画面を表示している場合は、無線 LAN 環境の通信状態が良くないために、本製品の操作・動作が遅くなる場合があります。通信状態が安定する場所で操作するようにしてください。

ファームウェアの更新が終わらない

対処	本製品の電源スイッチを押して、電源をいったん切り、再起動してください。 その後、再度ファームウェアの更新を行ってください。 ファームウェアの更新には、10 分〜 20 分ほど時間がかかります。開始から時間が経過していない場合は、しばらくお待ちください。

テレビに搭載のブラウザーから操作中にタイムアウトエラーが発生した

原因	大量のファイル削除など、処理動作に時間がかかる操作を行った場合、お使いのテレビに搭載のブラウザーによっては、タイムアウトとなる。
対処	しばらくお待ちの後、再度設定画面を表示してください。 なお、タイムアウトエラーになっても、再度設定画面を開いた際に処理動作が完了している場合があります。また、複数のファイルを選択した上での操作の場合は、選択するファイル数を少なくして操作するなどしてください。

本製品の IP アドレスについて

IP アドレスを出荷時設定に戻したい

対処	本製品背面のリセットスイッチで IP アドレスを出荷時設定に戻す（初期化する）ことができます。 以下の方法で本製品の IP アドレスの設定を出荷時設定に戻してください。 【IP アドレスを出荷時設定に戻す方法】 ①本製品の電源が入っていること（[電源] ランプが点灯していること）を確認します。 　電源が入っていない場合は、電源を入れます。 ②背面のリセットスイッチを先の細いもので約 2 秒以上、[電源] ランプが点滅し、 　「ピッ」と音が鳴るまで押します。 ③ [電源] ランプが緑点灯すれば、初期化完了です。

ご注意

●初期化処理中は、本製品の電源を切らないでください。
●ハードディスク内のデータは残ります。（消去されません。）
●ネットワークに接続したまま行うことができます。
● [電源] ランプ点滅中には、初期化しないでください。
●リセットスイッチを押し、IP アドレスを出荷時状態に戻すと、同時に予約録画情報も削除されます。

本製品の IP アドレスを手動で設定したい

対処	【本製品の IP アドレスを手動で設定する方法】 ●「Magical Finder」で設定する場合 ①弊社ホームページ (http://www.iodata.jp/r/3022) から [Magical Finder] をダウンロードし、起動します。 ② [IP 設定] ボタンをクリックします。 ●本製品の設定画面から設定する場合 　[かんたん設定] で設定します。【かんたん設定】(16 ページ) をご覧ください。

初期設定
他の設定
困ったときには
仕様

本製品の IP アドレスを確認したい

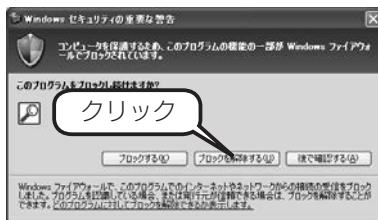
対処

・パソコンの場合

[Magical Finder] で確認することができます。弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/r/3022) からダウンロードして、以下の方法で確認してください。

① [Magical Finder] を起動します。

ご注意

右の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

右の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。
その後 [ユーザカウント制御] が表示された場合は、「続行する」をクリックしてください。

②画面に表示された IP アドレスが、本製品の IP アドレスです。

・DLNA 対応機器の場合

①コンテンツの再生画面を開きます。

②機器の選択画面で、本製品 (HVL-xxxxxx[RECBOX]) を選択します。

③ [Folders] または [フォルダー] を選択します。

④ [info] を選択します。

⑤タイトルに表示されている IP アドレスが、現在の IP アドレスです。

ランプやブザーについて

ランプの動作について知りたい

対処	【ランプの表示】(66 ページ) をご覧ください。

STATUS ランプが赤点灯している

原因	USB ハードディスクが正しく接続できていない。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点灯で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取外してください。STATUS ランプが消灯します。（しばらくすると電源ランプは緑点灯に変わります。）

原因	システムが起動していない。
対処	電源を切り、しばらく時間を空けて起動し直してお試しください。 それでも状態が変わらない場合は、本製品を弊社修理センターで点検させていただきますので、修理センターまでお送りください。（送付方法等は、【アフターサービス】(69 ページ) をご確認ください。）

CHK ランプが橙点灯している

原因	本製品がインターネット接続されている場合、最新ファームウェア自動チェック機能により弊社ホームページに最新ファームウェアが公開されていることを示しています。
対処	ファームウェア更新を行ってください。 【●本製品のシャットダウン時や再起動時に最新ファームウェアに更新する場合】(42 ページ) をご覧ください。

内蔵や USB ハードディスクについて

USB ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について

対処	FAT 形式や NTFS 形式のハードディスクは、そのままパソコンでご利用になれます。再度フォーマットする場合などのフォーマット方法の詳細については、お使いの USB ハードディスクの取扱説明書を参照してください。 ※フォーマットするとデータはすべて消去されますのでご注意ください。

デフラグ機能はありますか？

対処	本製品にデフラグ機能はありませんが、本製品に採用しているファイルシステムの仕様により、フラグメンテーション（断片化）が起こりにくい仕様となっています。

その他

タイムサーバーとの同期が行われない

原因	［IP アドレス設定］で正しく設定されていない。
対処	設定画面の [かんたん設定］→［IP アドレス設定］で､｢ゲートウェイ｣と｢DNS サーバ｣を設定してください。 入力するゲートウェイと DNS サーバの IP アドレスは、〈レグザ〉などで設定されているものと同じ値に設定し、タイムサーバーとの同期ができるかどうかご確認ください。 本製品がインターネット接続されていない場合は、タイムサーバー機能はご使用になれません。設定画面の [かんたん設定] → [時刻の設定] で手動で設定してください。

突然電源が切れた

対処	背面の FAN が回転しない、背面に物を置いて FAN がふさがっているようなことが無いか確認してください。

対処	本製品には、本体内の温度が異常に高くなった場合に、自動的にシャットダウンする機能が搭載されています。設置場所の室温が異常に高い場合などに、自動的にシャットダウンされることがあります。

DLNA 公開できるコンテンツ数に制限はありますか？

対処	本製品でDLNA公開できるコンテンツ数については､10000 コンテンツとなります。(弊社では、10000 コンテンツまで動作を確認しております。)

仕様

ハードウェア仕様

インターフェイス	LAN インターフェイス	転送規格	1000BASE-T /100BASE-TX/10BASE-T
		コネクター	RJ-45x1 (Auto-MDI/MDI-X 対応)
	USB ポート	転送規格	USB 2.0(1.1 含む)
		コネクター	USB A コネクター x 2 ※ USB ハブを経由して USB 機器を接続することはできません。
ネットワーク	ファイルサーバー機能	DLNA Server 機能（DiXiM Media Server 4） Windows ファイルサービス	
	対応規格	DLNA1.5　DTCP-IP1.4	
	同時録画 / 再生 / ダビング数	3 ストリームまで ※ DTCP ＋リモート配信は同時 1 配信に制限されます。	
	IP アドレス設定	・自動取得 (DHCP クライアント機能)、Auto IP ・手動設定	
	時刻合わせ	NTP 対応 (内蔵電池による時刻保持あり)	
その他機能	省電力機能	スタンバイモード対応（※出荷時設定） 一定時間アクセスがない場合に、HDD がスピンダウンします。	
一般仕様	電源	DC12V 1.1A（TYP）	
	外形寸法	約 215(W) × 189(D) × 41.5(H)mm(突起部・ゴム足含む)	
	質量	約 1.2Kg(本体のみ)	
	設置環境	横置き・最大 4 段まで積み置き可能 ※本製品は次のような場所に設置してください。 ・前後方向 10cm に物が無い場所 ・水平で安定した場所 ※発熱物の上に設置しないでください。	
	使用温度範囲 (℃)	5 ～ 35	
	使用湿度範囲 (%)	20 ～ 85 (結露なきこと)	
	保証期間	1 年保証	
	各種取得規格	RoHS 指令準拠、VCCI Class B	

ランプの表示

電源ランプ	緑	起動完了時
	赤	スタンバイモード（省電力モード）時
CHK ランプ	橙	新しいファームウェアがあります。 ※詳しくは、【●最新ファームウェア自動チェック機能】(41 ページ) をご覧ください。
REC ランプ	赤	録画中 / ダビング中
	橙	予約あり ※「スカパー！プレミアムサービス Link（録画）」対応 DVR / チューナー使用時のみ
STATUS ランプ	赤	エラー発生時

状態・操作	ブザー	電源ランプ	STATUS ランプ	状態
電源コンセント接続時	なし	消灯	-	本製品の電源が入っていない状態です。
電源投入後	ピッ	緑点滅	-	システム起動中です。
システム起動直後	ピー	緑点灯	-	正常に起動完了しました。
システムシャットダウン時	ピッ	緑点滅	-	システムシャットダウン処理中です。
設定操作を実行中	なし	緑点滅	-	本製品の設定画面による設定操作を実行中です。 ランプが点滅中は Web 設定画面による操作はできません。
内蔵ボリュームに対する操作（フォーマット、チェックディスク）を実行中	なし	緑点滅	-	内蔵ボリュームに対する操作（フォーマット、チェックディスク）を実行中です。 番組の録画や再生、共有フォルダーへのアクセスなどはできません。
設定完了時	ピー	緑点灯	-	実行中の設定が完了しました。 ※設定によっては、ブザーが鳴らない場合があります。
フォルダー公開設定	ピー	緑点灯	-	フォルダー公開の有効 / 無効の設定が完了しました。
USB 機器を接続した	なし	緑点滅	-	USB 機器の接続処理中です。
USB 機器接続処理完了時	ピー	緑点灯	-	USB 機器の接続処理が成功しました。
USB 機器取り外し時	ピッ	緑点滅	-	USB 機器の取り外し処理中です。
USB 機器取り外し処理完了時	ピー	緑点灯	-	USB 機器の取り外し処理が成功しました。
省電力モード設定時	なし	赤点灯	-	内蔵ハードディスクが省電力状態（スピンダウン状態）です。
電源投入後	ピピピピピ	-	赤点灯	システム起動不能状態です。 内蔵ディスクのシステムが読み取れない場合に発生します。
USB 機器接続処理完了時	ピーピーピー	-	赤点灯	USB 機器が正しく接続できていない状態です。
デジカメコピー完了時	ピッピッピッ	緑点灯	-	実行中のデジカメコピーが完了しました。

出荷時設定

項目	初期値
システムバージョン	1.00（出荷時期による）
MAC アドレス	34:76:C5:xx:xx:xx（製品ごとに異なる）

●かんたん設定

項目	初期値		
本製品の名前	HVL-xxxxxx(製品ごとに異なる)		
IP アドレス設定	自動で設定する		
	自動取得失敗時	IP アドレス	AutoIP 自動割当 169.254.xxx.xxx
		サブネット	255.255.0.0
		ゲートウェイ	なし
		DNS サーバ	なし
時刻設定	タイムサーバーと同期		同期する

●詳細設定

項目	初期値			
セキュリティ設定	セキュリティ設定	MAC アドレス別アクセス設定	なし	
		上記リスト以外の機器からのアクセス設定	接続を許可	
	宅外アクセス機能設定		なし	
システム設定	ランプの明るさ		明るい	
	自動アップデート機能		有効	
	カテゴリ表示		日本語	
	フォルダー公開		有効	
録画設定	視聴年齢制限		年齢制限	20 歳 (無制限)
			PIN コード	0000
ディスク	内蔵 HDD の省電力設定		30 分後（有効）	
	前面 USB ポートの動作モード設定		デジカメコピー	

文字制限

項目名	文字数	備考
本製品の名前	14 文字以下	設定画面上で使用できる文字 半角英数文字 (0 ～ 9 A ～ Z a ～ z) アンダーバー _ ハイフン - （数字やハイフン - で始まる文字列は不可）
ファイルや フォルダー名	半角 255 文字 (全角 85 文字) まで	使用する文字種によっては左記の数値よりも少なくなる場合があります。 Windows 7、Vista では他の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。 よって Windows 7、Vista でのみ使用可能な文字を共有フォルダーに保存するファイル名やフォルダー名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。 Windows 7、Vista と他の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Microsoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx) にある、「Microsoft Windows Vista における JIS X 0213:2004(JIS2004) 対応について」の「フォントパッケージと JIS2004 への移行シナリオ」に沿った対応をする必要があります。 ●設定画面で使用できない文字（フォルダー名のみ） \ / : * ? " < > ¦ . .(ドット) はフォルダー名の先頭のみ使用できません。
タイトル	半角 255 文字 (全角 85 文字) まで	設定画面で使用できない文字 .(ドット) のみ .(ドット) はタイトル名の先頭のみ使用できません。

対応ファイルフォーマット

本製品は、以下のファイルフォーマットに対応しています。
ただし、再生にはプレーヤー側も該当のファイルフォーマットの再生に対応している必要があります。
DLNA 再生を行うためには、再生を行う各ファイルが DLNA 規格に合致した形式である必要があります。
※ファイルによっては、以下のファイル拡張子でも再生できない場合があります。

動画	3gp	avi	divx	mp4	m4v	mov	mpg	m2p	mpe
	mpeg	vob	tts	asf	dvr-ms	wmv	mts	m2ts	
画像	bmp	gif	jpg	jpeg	png	tiff	tif		
音楽	ogg	lpcm	pcm	m4a	m4b	mp3	wav	wma	flac

アフターサービス

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

■お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

弊社サポートページのQ&Aを参照

➡ **http://www.iodata.jp/support/**

最新のソフトウェアをダウンロード

➡ **http://www.iodata.jp/lib/**

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3015

※受付時間　9：00～17：00　月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

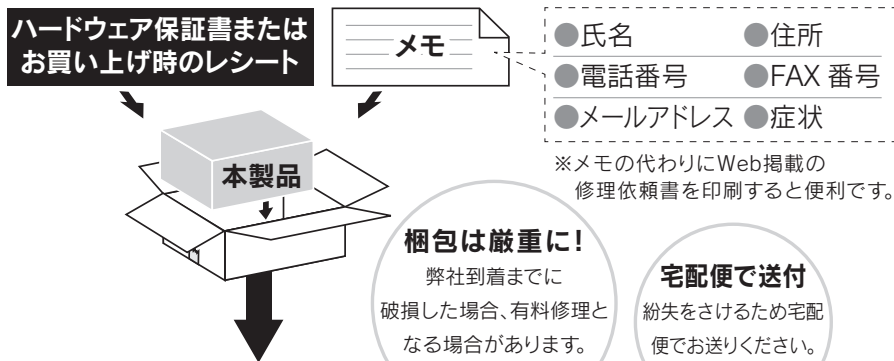
FAX：076-260-3360

インターネット：http://www.iodata.jp/support/

<ご用意いただく情報>

製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

■修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

- 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。（見積無料）
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

【ご注意】

1）本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2）本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3）本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4）本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5）お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

6）本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。